

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(12月 6日)(第15号)



「人が成長する」ためには？

図書館だより11月号を見て驚きました。10月の多読者の1位が3年3組の洲鎌さんで、51冊。1日に約1.7冊読んでいる計算になります。私は、毎朝7時半から校舎を回りますが、彼は教室で黙々と本を読んでいます。先日、本を読んでいたら、「人が成長するには人の話を聞くか、本を読むか、体験をするしかない」という言葉に出会い、本当にそうだと思いました。冲高教育振興事業を通して、本校では多くの講演会を実施し、島内外の教育活動に多くの生徒を派遣できています。参加した生徒の感想を読むと、新しい視点や価値観に出会い成長している様子がよく分かります。必要なことは、プラス読書ですね。読書を通して自分の内面と向き合い、想像力を育み、多くの新しい価値観と出会ってください。ちなみに図書館のクラス別貸出統計では、1年1組が最も多く、259冊でした。

研究公開授業

本校は、昨年度より「令和の日本型学校教育」推進支援プログラムの研究指定を受けており、12月4・5日の2日間で、国語・英語・数学・理科の研究公開授業を実施しました。

県教育委員会高校教育課より4名の指導主事の先生方と島内の小中学校より14名の先生方が参加してください、授業研究では活発な議論がなされました。4教科とも2年生の授業でしたが、端末を駆使しながら自分の考えを堂々と述べる姿に、皆さんの成長を感じ、大変嬉しく思いました。今後が楽しみです。



11月28日 防火防災訓練

11月28日(木)期末考査終了後、本年度2回目の「防災訓練」を実施しました。1学期は、地震を想定した訓練でしたが、今回は火災でした。調理室から火災が発生し、避難開始の放送が入ってから、わずか3分46秒で全員の避難が完了しました。沖永良部与論広域組合の川南隊員からも評価していただきました。また、講話の中では、避難時の



心構えである「押さない、駆けない、喋らない、戻らない」の確認と、自分で考えて行動する必要性を話していただきました。その後、1・2年生の体育委員による消火器を使った「消火訓練」がありました。先日、与論では大雨が降り大きな被害をもたらしましたが、火災も含めて、いつどこで災害が発生するかわからない時代です。普段から危機意識を高めて、消火器や消火栓の確認、避難場所や経路の確認、非常用リュックや家族との連絡手段の確認など、災害被害を最小限に止める「減災」に努めましょう。

オーバードーズに関する講演会



10代の若者が一般の過剰摂取を増えていることから、11月19日(火)のHRでは、学校薬剤師の松瀬珠美先生をお招きし、オーバードーズに関する講演会を行いました。

最初に、松瀬先生から、服薬の種類や服用の仕方、作用の影響等

について詳しく説明していただきました。次に、過剰摂取をせざるを得なかった患者さんについてビデオを鑑賞しました。生きづらい環境の中で、患者さんの「生きるために服用している」という切実な訴えが心に響きました。最後に、「あなたの素敵ところはね」という絵本を読んでいただき、お互いの良さを確認するために、ペアになった相手のいいところを、モミジの葉に似せた紙に書きました。そして、全員で書いた葉をモミジの木に貼り付けて、素敵なモミジの木が完成。先生からは、「人には必ず得意な部分と不得意な部分があります。得意な部分は自分が担当して、不得意な部分は、誰かの強みはずだからお願いすればいいです」というメッセージをいただきました。モミジの木は、保健室の横に掲示してあります。ほっこりした気分になった講演会でした。

「えらぶ百合物語」おめでとう！ 「県芸術文化奨励賞」受賞



「えらぶ百合物語」(代表は本校PTA会長の南山浩一氏)が、2024年度の県芸術文化奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

「劇団えらぶ百合物語」は、知名町・和泊町の小中高校生を中心に2010年に結成され、えらぶ特産の「えらぶゆり」をテーマとした創作ミュージカル公演が島内外で実施されてい

ます。今回は、島の魅力を広く伝えたことで高く評価されたようです。来年度は、関西での公演を予定されています。私は「本校PTA主催の歓迎会」、「文化祭」、「知名町役場官舎落成祝賀会」、そして8月に行われた島内での公演を鑑賞しましたが、本当に感動しました。若者の溢れるエネルギーを感じました。団員の皆さん、これからも自分の成長のために、そして島の発展のためにも頑張ってください。